

「西鉄新宮駅」

みなさん、「西鉄宮地岳線」を憶えていますか。現在は貝塚線として西鉄新宮駅が始発(終着)となっていますが、以前は旧津屋崎町の津屋崎駅まで続いていました。身近な駅の歴史を知り、楽しいおでかけスポットを巡ってみてはいかがでしょうか。



① 駅ができた! 「新宮港駅」

1924(大正13)年、西日本鉄道の前身、博多湾鉄道汽船(湾鉄)が筑豊炭田への石炭輸送と旅客のため、「新博多-和白間」の線路を敷き、翌年宮地岳まで延伸しました。開通当時の駅は「新宮港駅」といい、蒸気機関車が毎日13往復していました。1929(昭和4)年に電車に変わり、1942(昭和17)年、湾鉄が合併。駅名も1950(昭和25)年に「西鉄新宮駅」となり、現在に至ります。

② 駅を基点に大にぎわい!

開通に合わせ、新宮村商工会は湊川河口付近に海水浴場を開設。その後、より駅に近い現在地に海水浴場を移設しました。多くの海水浴客が訪れ、大変なにぎわいをみせました。

「新宮イチゴ」も利用客増加を支えました。イチゴ生産組合と湾鉄は、三苦駅と新宮港駅間に臨時駅を設け、イチゴ狩りの観光農園を開きました。観光産業と駅は大きく関わってきたことがわかります。

福岡市内唯一の遊園地「かしかえんシルバニアガーデン」は、駅を降りてすぐそこ。ジェットコースターや立体迷路などのアトラクションのほか、四季折々の花が楽しめるのも魅力。昨年3月にリニューアルオープン。



徒歩10分の距離に和白病院(総合病院)があり、通院に便利。ランチやお買い物なども楽しめる。

マリックス・西鉄バスに接続。始発駅で座りやすい!

西鉄貝塚線沿線

おでかけ
スポット

新しい年を迎えるこの機会にぜひ、通勤や通学、観光や買い物などで西鉄貝塚線の利用を考えてみませんか。

香椎
花園前200円
11分

唐の原

200円
9分

和白

200円
6分

三苦

150円
3分西鉄
新宮西鉄新宮駅からの
大人片道運賃・時間

③ 未来へつなぐ ～西鉄貝塚線を利用しよう！～

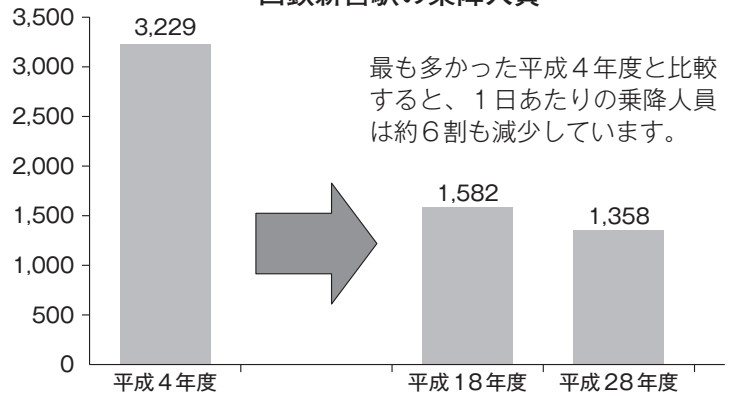
西鉄貝塚線の乗降人員は平成4年度をピークに減少傾向にあり、このままでは路線の維持・存続が難しい状況になっています。西鉄新宮駅も平成19年に廃止の危機にさらされましたが、当時のみなさんの願いが届き、存続が決まりました。暮らしに身近で大切な交通拠点であるこの駅を未来に残していくためには、より多くの人々がマイレール意識*を持って電車を利用する必要があります。

*マイレール意識

鉄道の必要性と重要性を住民や関係機関が再認識し、自ら地域の鉄道を守り育てていく意識



単位：人/日



電車利用のいいところ

- 渋滞がなく時間通りに移動できる
- 駐車場を探す必要がない
- 移動時間を有効に活用できる(読書や休憩など)
- 交通事故のリスクが低い
- 自家用車利用に比べ、環境・健康・家計にやさしい

特に西鉄新宮駅の場合は…

- マリンクスや西鉄バスに接続し、移動しやすい
- 始発駅であるため座席を確保しやすい

すぐ隣の「貝塚交通公園」は信号機や交通標識が設置され、子どもが遊びながら交通ルールを学べる体験型スポット。ゴーカート(子どものみ)は1回50円で利用可能。福岡市営地下鉄に連結し、天神や空港へ行くのに便利。



福岡市東区の新たな副都心。徒歩圏内にオシャレなケーキ屋やパン屋などが立ち並び、お気に入りの店も見つかるはず。

とても位が高い旧官幣大社の一つ、香椎宮まで徒歩10分。楠並木がある参道にはカフェやスイーツの店があり、森林浴をしながらの散策もおすすめ。



駅周辺には飲食店や塾がたくさん。

